



1995～1996年度RIテーマ

真心の行動
慈愛の奉仕
平和に挺身

Tokyo
Jama
Green
Rotary Club

青い空 緑の山と風
黄色のうねりは
人類の理想 文化を表わす。
それらが混然一体調和して
ロータリーの理想に向って
昂って行く姿を示している。

地区の標語 **原点に帰りロータリーの心を学ぼう**
クラブの標語 **親睦と奉仕でクラブの和を深めよう**

国際ロータリー第2750地区
東京多摩グリーンロータリー・クラブ

No.248 6-21
1995.12.6 発行

Weekly Report

城RCと当クラブの3クラブ合同会議を行いました。当クラブより会長、幹事、佐伯SAA委員長、伊東親睦委員長、赤尾地区GSE委員の5名が出席して合同会議を開きました。議題は来日GSEを迎えての多摩RC、稲城RC、多摩グリーンRC、3クラブ合同夜間例会を開催する事になりました。

3月19日(火) 京王プラザホテル多摩

3クラブとも当日は全員登録という事に決まりましたのでご報告致します。詳しい事は理事会にて審議し、改めてご報告致します。

◎幹事報告

幹事 橋口 洋三

先週のガバナー公式訪問、無事終了しました。会員の皆様ご協力有難うございました。

- 1) 本日例会後、第11回理事会を「南野商事」で、とお知らせしましたが、「サファイア」で8時頃から開催しますので役員、理事の方、出席よろしくお願い致します。
- 2) 第2750地区の本年度の『意義ある業績賞』の応募に、創立5周年記念事業で応募しました。乞うご期待です。
- 3) 本日例会後、派遣交換留学生との懇談会を「サファイア」で開催しますので、国際青少年交換委員、派遣交換学生カウンセラーは出席よろしくお願い致します。
- 4) 大学院課程と職業研修学会のロータリー財団国際親善奨学生募集の募集要項が来ています。
申込締切：1996年1月22日(月)
第一次、第二次、第三次選考まであります。
第一次選考：3月2日(土)
吉沢ロータリー財団委員長、出席よろしくお願い致します。
- 5) 地区大会実行委員会よりロータリー活動の写真展出展のお願いが来ています。
来る3月8日(金)～9日(土)の両日、東京ベイNKホールで開催される地区大会に、各ロータリークラブの今年度の奉仕活動の記録写真の写真展をするので、出展のお願いです。

第248回例会報告(11/29)

(1995年～1996年度第21回例会)

司会 SAA委員会委員 藤本 吉文

◎点鐘 会長 萩生田茂夫

◎ロータリーソング ソングリーダー 菊池 敏
「四つのテスト」

◎お客様紹介 会長 萩生田茂夫

由井 重光様(多摩RC)
石坂 文夫様(多摩RC)
小林 誠治様(多摩RC)
小野 直美様(青少年交換学生)
鈴木なつみ様(青少年交換学生)
和気 真菜様(青少年交換学生)

◎会務報告 会長 萩生田茂夫

先日、当クラブが創立当時の多摩ロータリークラブの会長さんでいらした石坂文夫様から、お母様の葬儀並びに告別式に多数の方々のご会葬を賜り誠に有難うございましたというお礼状と香典返しを頂戴しておりますのでご報告申し上げます。

11月24日、桜ヶ丘の「神谷」に於て、多摩RC、稲

東京多摩グリーンロータリー・クラブ

会長：萩生田茂夫 副委員長：吉尾肇太郎 山崎 光一
幹事：橋口 洋三 委員：平野行廣・飯島裕美・根本泰守
会報委員長：小城 章員 関岡俊二・城倉正博・戸田昭寿
例会場 多摩そごう7F バンケットルーム

事務局：東京都多摩市落合1-9-1
多摩センタービル7階
TEL 0423-72-6463/FAX 0423-72-6491

例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30

委員会報告

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会委員 小林 和夫

石坂 文夫様：母の葬儀に対してのご配慮有難うございました。改めて参ります。

萩生田茂夫：先週のカバナー訪問の折には90%以上の出席を賜り、無事に終了しましたので。

橋口 洋三：先週のカバナー公式訪問、無事終了しました。皆様ご協力有難うございました。

橋口 洋三：先週、初めての男の孫が生まれたので。

田中 實：旅行に行きます。

伊藤 英也：お客様ようこそ。

関岡 俊二：津守さん、卓話楽しみにしています。

田畑 博：1日欠席しましたので、ペナルティーです。

遠藤 立一：入会后、1.1年を無事過ごしたので。

中山 恒武：由井先生ようこそ。いつもお世話様です。

杉山 英巳：今年も無事誕生月を迎えましたので。

海野 栄一：会員各位の個別出席率推移表を配布させて頂きました。

橋本 幸夫：津守さんの卓話楽しみです。

小城 章員：テーブルの花をもらって帰りました。

新海源四郎：ガバナーをお迎えして。

根本 泰守：暮の贈り物、いつもの新潟の樽酒です。

本日合計 金38,000円 本年度累計 金489,278円

◎出席報告 出席委員会委員長 海野 栄一

会員総数	54名
出席者数	45名
本日出席率	83.33%
11/15出席率	96.30%

■メイクアップ 1名

伊澤ケイ子 (11/20 I.M.)

■欠席届出者 9名

大松 誠二	伊神 稔	石田 政昭
伊東 巖	風間 茂穂	森田 舞子
坂田 育男	新海源四郎	高野 範城

◎ロータリー豆知識 ロータリー情報委員会委員 赤尾 恭雄

◇例会における酒類飲用の可否

◇にせロータリアン



◎ロータリー財団委員会より

ロータリー財団委員会委員長 吉沢 洋景

財団の寄付金のドル換算レートが来月12月から1ドル100円となります。明11月30日迄、1ドル96円です。寄付される方は早めをお願い致します。

先週赤尾会員の奥様がフェローの表彰を受けられました。お祝いを申し上げ感謝致します。皆様の励みにして頂きまして、財団の寄付の方もよろしくお願い致します。

◎結婚記念日、誕生日御祝

親睦活動委員会副委員長 北村 幸彦

◇結婚記念日御祝

宮本 誠 奥田 文夫 戸田 昭寿
根本 泰守

◇誕生日御祝

奥田 文夫 藤本 吉文 杉山 英巳

令夫人誕生日御祝

横倉キヨ子様 中山 洋子様 宮本 朱美様

— これからの卓話（予定）と行事 —

12月13日 (卓話) 遠藤 立一

「環境と健康」

12月20日 クリスマス例会 (京王プラザホテル多摩)

12月27日 夜間例会

1月10日 (卓話) 吉沢 洋景

「わが職業を語る」(仮題)

1月17日 (卓話) 飯島 裕美

「私達の生活と水」

(今週の担当：関岡 俊二)

【卓 話】

第2750地区ガバナー 丸山 宏様



皆様今日は早朝からお伺いさせて頂き、又皆様の活発なご発言を頂きまして大変有難うございました。今日は大変出席率がよろしい様で、ついに又90%に戻すようでございます。おめでとうございます。皆様のクラブは5年前に出来ました。私もそのお祝いの席に参列致しまして、すぐそばのピューロランドの中に入って楽しませて頂きました。早いものですね。もう5年が過ぎました。会員が増えて立派なクラブになりました。御同慶の至りでございます。皆様とこうしてお目に掛れるのも、ポールハリスがロータリーを作ってくれたからでございます。大勢の友達も先程も申しましたが、大変な財産であります。私はロータリーに入りまして本当に自分のクラブばかりでなくて大勢の皆様と友達になれました。そういう訳でポールハリスのお陰で色々な方と親しくなって感謝致しております。

ポールハリスはお父さんが事業に失敗しまして、夜逃げ同然でおじいさん・おばあさんの住んでいる所に逃げて来るんですね。その場所はバーモント州のウォリングフォードという所です。彼はミシガン湖畔の街ミルウォーキーという街、そこにラシーンという所があるんですがそこで生れたのです。お父さんは事業に失敗した。兄のセシルが5才、ポールが3才。お母さんがいないのはどう言う事なのかと申しますと、下に1才になるニーナメイという妹がいてその妹を連れて行きますとおじいさん・おばあさんが困るんじゃないかというんで2人だけ連れてお父さんがおじいさん・おばあさんの所に逃げて来たのです。

そして彼は3才の時から19才迄祖父母に育てられました。この地方はニューイングランド地方と言いまして昔聖教徒達がイギリス本土の迫害を逃れて大学して新大陸の方に夢を抱いて来たのです。ボストン、マサチューセッツ州、北のメイン州、その西隣のニューハンプシャー州…ニューハンプシャーというのは大統領選が始まると一番最初に名前が出て来る州ですね…その隣がバーモント州、南にコネチカットロードアイランド、この6つを入れてニューイングランド地方と言います。非常に宗教心の深い、しかも思いやりがあるお互いに助け合いをすると言う地方でございます。殆どイギリスからの移民が多いので

す。そこで彼は祖父母に育てられる。兄貴はおばさんが引取ります。結局彼1人祖父母に育てられる事になります。

3つの小さい時からおばあさんに連れられて毎日曜日礼拝に行く訳です。教会に行きまして、彼もそう言う事で信仰心が厚い、男の子ですからワンプク小僧でいたずらも多にやっていた様ですけど、彼が19才になりましてプリンストン大学の1年生を殆ど終え様とする時、その年は非常に寒い時で、雪がうんと降った年でした。バーモント州の北はカナダセントローレンス河という河が流れている。そこにモントリオールという街がある。地理的には非常に北の寒い所です。そこで祖父は朝早く雪かきをしていたのですがついに肺炎に掛けて看病の甲斐なく帰らぬ人となりました。祖母は淋しそうな顔をしている訳です。口には言わないけれど、ある日祖母とポールハリスは連れだって裏の畑のリンゴ畑を散歩していました。祖母が言いました。「ポール、祖父は貴方の事をとっても頼りにしてました」と。「祖父はお父さんが失敗ばかりしたり迷惑を掛けているので、自分の人生というのは一生失敗の人生だと思っていた。神様から貴方を授けられて祖父は貴方にとっても期待していました。祖父の期待にそむかない様、立派な人間になって下さい」と、こう言われて彼はジーンとして、こういう立派な人間になれるだろうかと言う事を考えていたと伝記に書いてあります。

彼は1896年にシカゴで弁護士業を始めるのですけど、皆様もご存知のシカゴという所は新興の大都会です。人間がどんどん入って来る人種のるつぼ、ニューイングランドの地方とはまるで違った別世界、善と悪とが入り乱れている。そういう所に魅力を感じて彼は弁護士業を始めました。ところが自分が育った人情味豊かな所と違ってシカゴはとにかく雑然としていて友達が一人もおらず淋しくて仕様がな。ミシガン湖畔で遊覧船に乗ったり、おいしい料理を食べに行ったりするのだけけど、シカゴの湖南に膨大な公園があります。そこに行きますと土曜、日曜、祭日になると人が何万人と遊びに来ている。ところが一人も知った顔がなく淋しくて仕様がな。何とかならないだろうかと思案に考えていました。ある日友達と2人で弁護士業を始めました。

その弁護士に誘われて彼の家で夕食をしました。食事が終わって散歩に出掛くとその友人の弁護士は商店街に行つて一軒一軒そこのおやじと親しそうに話をしている。一軒終ると又隣の店に行つて話している。出て来て又隣りの家に行つて話している。彼はその時フツと考えたのです。いろんな業種の人を集めたら面白いクラブが出来るとは違いないなあと。まだその時は一業から一人と言う考えは浮かんでいませんでした。彼が弁護士業を始めて9年の歳月が流れました。1905年2月23日の夜、友達を3人集めてこう言うクラブを作りたいと話し、みんな大賛成。遂にロータリークラブが（その時はロータリーと言っていないのです）出来ました。彼は自分では表に出ず、裏方さんで人事をやったり庶務をやったりお金の面倒を見たりして来ました。

1907年3代目になって3代目の会長に彼は就任致しました。その時に彼には実は遠大な理想がありまして、一業から一人入れると言う事は勿論彼の頭の中ではっきりした型となって表れていましたけれど、それ以外にロータリーと言うこの組織を世界中に広めたいと言う事で例会の時に世界中にロータリーを作りたいと会長が宣言してしまう。会員はビックリしてとんでもない話を始めた、そんな事出来る訳がない、と冷たい空気が流れて彼は一時孤立をしてしまうのです。中に全世界は無理だがアメリカだけなら出来るに違いない、そう言う応援者もいました。応援者がサンフランシスコに行くと言うので、ポールハリスはその人に託しました。彼はサンフランシスコでロータリーを作る様運動をしてくれ、サンフランシスコに行き、ホームーウッドと言う若い弁護士と親しくなりました。

遂に1908年サンフランシスコに第2のロータリークラブが出来ました。サンフランシスコは非常に積極的で、そのすぐ対岸のオークランドにロータリーを作りました。それが又飛び火してロサンゼルスに、シアトルに、ポートランドに、そして西海岸にポチポチポチポチ、ロータリークラブが出来て行きました。その火はニューヨークに、また、ボストンに飛びました。殆ど同じ頃ロンドン・マンチェスターに飛びました。こう言う風にして、1910年に全米ロータリー大会と言うのが開かれるのです。その時16の州で16のクラブが出来ておりました。シカゴロータリーが面倒を見、ホストクラブのシカゴロータリーはすでにその時100人の会員を擁していました。同じ星の空のもとで淋しい想いをしている友達がいっぱいいたと言う証拠だと思うんです

ポールハリスにとって非常に彼は運が良かったのですけど、2人の優秀な会員が1908年に彼の元に入ってきました。1人はアーサーフレデリックシェルド、もう1人はチェスリーペリー。

シェルドはミシガン大学の経営学部を出まして、『商人の道』と言う本を出し、商人を集めて教育していたのです。彼は商売と言うものはとにかく、買手手の立場に立って物を売り、造る人の立場に立ってサービスをすると言うこの原則をしっかり守らなければうまく行かない。シカゴでは、とにかく自分さえ良ければ良い、儲かりさえすれば良いと言うサギずすれの商売も盛んに行われていた。その中であって商人の進むべき道をはっきりと示しました。彼はそれをヒープロハットモースドビーサービス…最も良く奉仕する者が最も報いられると言う標語にして表しました。1911年の大会の時にミネアポリスの初代の会長フランクリンズがサービスノットセルフと言いまして…自分をノットにして犠牲にして奉仕だと、これじゃ生活して行けない。サービスアウトセルフに代えました。自分も大切、相手も大切、お互いに納得して、そして商売と言うものは成り立つ。この2つの標語を最も良く奉仕する者が最も報われる、そして超我の奉仕の思想は今日に至る迄ロータリーの根本的な思想として脈々と我々の中に根付いている訳でございます。

一方、チェスリーペリー、この方は1910年の大会の時に事務総長になりました。その翌年に世界大会が開かれた時で、遂に彼は1942年迄32年間に亘ってロータリーの事務総長を務めました。このチェスのお陰でロータリーはしっかりした組織が出来て全世界にロータリーが広がる時に彼の指導力に依ってロータリーが磐石の基礎を作りました。ポールハリスは非常に彼の事を有り難いと言っています。チェスがいなかったら今日のこう言う風に素晴らしいロータリーは出来なかっただろう、チェスのお陰で本当に素晴らしいロータリーが出来たと。また自分はロータリーの設計者で、チェスはロータリーの施工者で両方が相まって今日のロータリーがあると。事実ロータリーは本当に大勢の方々の献身的な努力に依りまして、全世界に徐々に徐々に広がって行きました。今日、120万人・27,500クラブ、この様な巨大な組織に発展して行きました。そうそうの始めからしっかりした理念を持って行動を致しました。ロータリーは、これが単なる社交クラブ、あるいはお互いに商売上で助け合うと言うだけの事であつたらこんなには発展しなかったであろうと言う風に思います。

今年度私達は515人のガバナーがおりまして、ガバナー当時はノミニーがロサンゼルス郊外のアナハイムと言う所にヒルトンタワーと言うホテルがあるのですが、隣にはディズニーランド、そこで一週間缶詰になりまして今年度の我々ガバナーとしての教育を受けました。実様同済指導者を入れて1,300名、この皆様と休みもなく朝8時30分から夜9時、10時迄ピッシリ日程があるんですね。そこで一週間教育を受けました。その時に最初スタートの日に今年度のブラウン会長は、3つのテーマを発表された訳です。真心の行動をしよう、慈愛の奉仕をしよう、平和に挺身しよう。このテーマは実はそのロータリーの90年代の歴史の中に於ける真髄を吐露したテーマなのです。

真心の行動をしよう…ロータリアンと言うのは4つのテストをしっかり守って行動する真心の行為が出来る模範生です。どうも最近真心なんて言葉がはやらなくなって来ました。しかしロータリアンは真心のこもった事が出来る模範生であり、この模範生をとにかく一人でも二人でも増やしたい。世界中に亘って、おかしな事件が起こる…確かに今年はオウムをはじめ実におかしな事件が起こりました。これは日本ばかりでなく、このまま放っておくと、世界中がおかしな世の中になってしまう。だからロータリアンをもっともっと増やして力をつけてロータリアンを通して住み良い社会を作りたいんだと言う事を会長はおっしゃった訳です。

3つのテーマ、真心の行動・慈愛の奉仕・平和に挺身、この会長の気持ちをですね、我々も今年度まだあと7ヶ月以上あります。皆様のロータリー活動が実りあるものになります様にお願いを致しまして、丁度時間でございますので私の卓話を終らせて頂きます。

第247回(11/22)例会において

(卓話担当: 根本 泰守)